



www.aiwa-co.com

愛和食品株式会社

 業務部 情報システム課 主任 水野一成様
 営業本部 本部長付 川嶋直子様

適用業務	一般稟議書、人事稟議書、マスタデータ登録申請
導入前	紙運用、一部CRMシステムのカスタマイズ

会社概要

アミューズメント業界、特に遊戯ホールで提供する景品を一手に取り扱う商社。食品卸の会社からスタートして44年の歴史をもち、常に革新的なアイデアで様々な商品をホールに提供している。神奈川県を中心に数多くの遊戯ホールを顧客に持つ業界トップクラスのリーディングカンパニー。社員数:250名 業種:商社

一番の魅力は「いつでもどこでも」決裁できること。 コスト面での優位性も導入決定の大きな要因に。

出張中の上司も外出先で承認できるように

44年の歴史をもち、常に時代の最先端をいくサービスを遊戯ホールに提供している愛和食品。同社は、2011年4月にStreamlineを全社的に導入した。

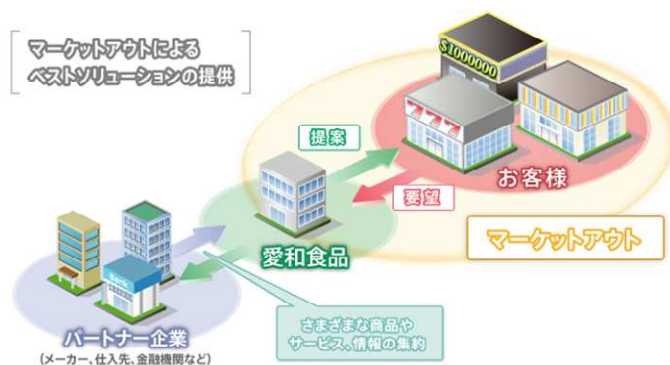
その経緯について、導入業務を担当した営業本部の川嶋直子氏と業務部情報システム課の水野一成氏は次のように言う。

「今までは各種の申請書類を紙で回付していたので社内に上司がいない場合はどう頑張っても承認業務が流れないという課題を抱えていました。」と川嶋氏。また、費用面でも一部の申請はCRMシステムをカスタマイズして利用していたために、本来のCRMユーザ以外に相当程度の月額費用が発生していたという。

導入の追い風になったのは社長をはじめとして本部長、部長といったマネジメントクラスのユーザがiPadやスマートフォンを利用していただけだ。同社は社長を中心に常に



革新的な製品やサービスを積極的に取り入れている。最新の情報収集や社内コミュニケーションのために出張中でも当然インターネットやメールにアクセスできる環境は整っていた。「今では出張先や新幹線の中からも承認処理を行ってくれるので、ずいぶんスムーズに回るようになりました。また、誰の所で停滞しているかもひと目で確認できるのでとても助かっています。」



シンプルで簡単、最新版が自動で手に入る

水野氏と川嶋氏は部署を超えて連携し、コスト削減を図る中で、同社のワークフロー（紙+既存システム）の代替システムの導入を比較検討していた。各端末へのインストール作業やシステムのメンテナンスの必要が無く、常に最新版を利用できるクラウド型のサービスであることが前提だった。

「様々なサービスを検討した中で当社の検討基準になったのが、1.低価格であること、2.クラウド型のサービスであること、3.自由度の高いサービスであること、これら3点を満たしていたサービスがStreamlineでした。」と水野氏。

また、川嶋氏は「申請書フォームの作成が非常に簡単で開発作業なしで変更できるのはありがたいです。ワークフローシステムの本筋とは関係ないのですが、Streamlineはハンコの見栄えが良いんです。ハンコがあると承認した感じがすごくあるんですよ。また、細かいところだとプリンタの設定を変更しなくてもA4の書類が作成できる点はユーザ受けが良いですね。」と目を細めた。

「我々ユーザ企業が要望として相談したものを検討した上で、より良い形でサービスに取り入れてくれる姿勢も評価しています。今後も新しいサービスに期待しています。」と水野氏。

常に新しい技術を取り入れ、社内のビジネス環境を進化させる両氏のお話に、同社の好業績を支える秘密を見た気がした。

お問合せ

Streamlineの詳細については、<http://streamline.mitori.co.jp> をご覧いただくか、もしくは、各社取次店・代理店にお問合せください。

© Copyright 2010 Mitori, Inc <http://www.mitori.co.jp>